

## 平戸市総合戦略 個別施策の進捗状況（令和5年度実施）

1. 基本的事項									
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～								
目標を達成するための方策	ア) 農林業の振興	イ) 水産業の振興	ウ) 観光の振興						
	エ) 地域ブランドの推進	オ) 持続可能な地域経済の確立							
2. 数値目標									
数値目標	単位	基準値	R元	R2	R3	R4	R5	目標値	
主要農林畜産物販売額	億円/年	53.7	51.8	46.8	51.8	47.6	47.6	55.6	
水産物販売事業総取扱高	億円/年	60.0	54.6	42.5	47.4	54.7	54.5	60.0	
観光消費額	億円/年	104	105	67	74	94	93	122	
3. KPI（重要業績評価指標）									
KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値	R元	R2	R3	R4	R5	目標値	
新規就農者数	人/年	6	6	14	6	10	2	6	
繁殖雌牛の平均飼養頭数	頭/戸	9.4	10.4	11.3	12.0	12.5	13.2	11.0	
沿岸漁業における新規就業者数	人/年	3	4	6	8	1	9	4	
地域計画にかかる事業申請件数	件/年	1	2	2	1	2	0	3	
観光入込客数	千人/年	1,771	1,777	1,387	1,475	1,604	1,438	2,000	
年間宿泊客数	千人/年	262	259	146	163	246	237	300	
年間外国人宿泊客数	人/年	22,912	19,157	881	13	642	13,933	30,000	
新商品開発数	品	38	39	66	69	76	80	88	
平戸産品取扱店舗数	店舗	54	71	74	69	78	72	75	
市内高校への進学率	%	54.7	46.5	56.6	64.5	54.6	56.3	60.0	
未来技術にかかる研修参加者数（累計）	人	17	17	17	17	17	17	37	
4. 進捗状況の分析									
<p>観光業については、観光客数は前年比16万6千人（約10.3%）減の143万8千人、宿泊客数は9万人（約3.6%）減の23万7千人と推移したものの、年間外国人宿泊者数は13,291人（約95.3%）増の13,933人となっている。インバウンドに係る宿泊客は増加傾向にあり、活性化が見られる。</p> <p>農林業については、繁殖雌牛の平均飼養頭数は微増しているものの、主要農林畜産物販売額は横ばいとなっている。担い手不足や高齢化等の影響が考えられ、担い手の確保や省力化の推進が急がれる。</p> <p>水産業について、就業希望者希望者への実地研修等の実施や後継者支援による機器更新費用助成等により「沿岸漁業における新規就業者数」が増加したが、「水産物販売事業総取扱高」は令和4年度に引き続き横ばいではあるものの、回復傾向にある。</p> <p>地域ブランドの推進については、東京有楽町に開設している販売型アンテナショップ「有楽町ひらど商館」・飲食型アンテナショップ「平戸こんね」及び平戸市公式オンラインショップ等を有効に活用し、平戸フェア、物産展の開催等により全国に向けて本市特産品のPRを行うことができた。</p>									
5. 今後の方針									
<p>コロナ禍の影響が無くなった市内各種産業は、アフターコロナの取組みにより徐々に回復傾向にあるものの、各分野の関係機関と連携した産業振興施策を今後も継続して実施していく必要がある。</p> <p>農林業については、後継者不足解消に向けた担い手の確保や育成に継続して取り組むとともに、新技術の導入による生産性の向上や効率化を積極的に支援し、もうかる農業の確立によるKPIの達成を目指していく。また、林業者の雇用安定、木質バイオマスエネルギーの供給体制構築、二酸化炭素排出量削減等のために、官民が一体となって取り組んでいく。</p> <p>水産業については、持続可能な漁業の推進と流通販売方法の改善に努めるとともに、担い手の確保や育成及び定着を図るため、支援を引き続き行っていく。</p> <p>観光業においては、地域DMO（平戸観光協会）を中心として、平戸城をはじめとする観光資源を活用した旅行商品造成など、さらなる観光地平戸の再生に取り組みながら、交流人口の拡大を図っていく。また、アルベルゴ・ディフーズタウン推進のため、官民一体となって計画的な整備を行うとともに、市民の意識醸成を図っていく。</p> <p>地域ブランドの推進については、地域商社による物販型・飲食型アンテナショップの運営や、ECサイトを活用したPR及び平戸産品販路拡大など、民間が主体となって取り組める体制づくりを構築し支援する。</p>									



1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	ア) 農林業の振興
方策の概要	担い手対策について、新規就農者の確保・育成のため、産地を核とした育成システムの実行や、その後の経営確立支援を実施するとともに、集落における多様な担い手を明確化する取組みを通じて、地域農業における担い手の確保・育成を推進します。
	園芸振興について、生産者の経営安定と所得向上を図るため、振興品目の生産力及び労働生産性の向上に向けた施設整備・機械導入等に対する支援に取り組みます。
	畜産振興について、肉用牛を中心とした生産者の経営安定を図るため、規模拡大に向けた飼養管理施設の整備及び家畜導入等への支援に取り組みます。
	農地の基盤整備による優良農地の確保及び生産性の向上とともに、農地が持つ多面的機能の保持に努めます。
	広葉樹や未利用間伐材等の豊富な森林資源の有効活用を図るため、木質バイオマスエネルギーの利用体系の構築を図ります。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	産地を支える人材確保推進事業	農業振興課	平成29年度	継続	16
2	農業次世代人材投資事業	農業振興課	平成24年度	継続	17
3	新規就農者育成総合対策事業	農業振興課	令和4年度	継続	18
4	園芸用リースハウス整備事業	農業振興課	令和4年度	継続	19
5	平戸式もうかる農業実現支援事業	農業振興課	平成27年度	改善・見直し	20
6	ながさき型スマート産地確立支援事業	農業振興課	令和2年度	継続	21
7	畜産クラスター構築事業	農業振興課	平成28年度	継続	22
8	木質バイオマスエネルギー推進事業	農林整備課	令和2年度	継続	23

# 事業評価シート

事業名	産地を支える人材確保推進事業						担当課	農業振興課		
予算科目	6 款	1 項	3 目	総合計画施策体系	1	1	1	1	実施年度	平成29年度 ~

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	746	864	636	516	3,923	2,323
国県支出金						
地方債						
その他		864	636	516	3,888	2,287
一般財源	746				35	36

## 事業の目的及び内容（PLAN）

<p><b>【事業目的】</b> 生産者の高齢化が進む地域振興品目について、就農希望者への情報発信や相談対応等を通じ、新たな担い手となる人材を確保することで、産地の活性化を図ることを目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就農希望者募集用ホームページ及び冊子（平戸nova）のリニューアル</li> <li>・ 就農希望者募集用ホームページ（平戸nova）による情報発信</li> <li>・ 就農相談支援員の設置</li> <li>・ 就農希望者の相談対応（オンライン相談会、オンラインセミナー・産地見学ツアー、就農フェア、電話、メール等）</li> </ul>
---

## 事業の実施状況（DO）

<p>1. 専用ホームページ・冊子（平戸nova）のリニューアル HP：令和5年11月30日更新 冊子：500部作成</p> <p>2. 専用HP等による情報発信 HPアクセス件数：3,680件</p> <p>3. 相談対応 就農相談件数 35件 （オンライン相談会参加者：4人、オンラインセミナー・産地見学ツアー参加者：20組（27人）、就農フェア参加者：11人）</p>
---

## 事業実施による成果（CHECK）

<p>専用ホームページによる情報発信や、県と連携したオンラインセミナー・産地見学ツアーなどを通じ、本市での就農に関心を持つ方へアプローチすることで、今後の就農相談につなげることができた。</p>
---

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 就農相談件数	件	24	529	40	47	35	年度
② ホームページアクセス件数	件	4,268	23,619	7,480	5,186	3,680	年度

## 事業の改善（ACTION）

<p>事業実施に係る課題及び改善点</p>	<p>就農相談件数が減少していることから、より効果的な情報発信に努める必要がある。就農前後の相談においては、農業技術に係るもののほか、生活面におけるものなど、多岐に及ぶことから、今後とも庁内関係部署や関係機関と連携しながら、相談機能を充実していく。</p>
<p>今後の方針</p>	<p><b>G</b>    A 拡大   B 縮小   C 統合   D 廃止・休止   E 事業完了   F 改善・見直し   G 継続</p>

# 事業評価シート

事業名	農業次世代人材投資事業						担当課	農業振興課			
予算科目	6款	1項	3目	総合計画施策体系	1	1	1	1	実施年度	平成24年度～令和8年度	

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	3,000	6,750	10,125	10,500	9,750	6,825
国県支出金	3,000	6,750	10,125	10,500	9,750	6,825
地方債						
その他						
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）
<p><b>【事業目的】</b>            経営が不安定な就農直後の期間において、経営開始資金を交付することで、新規就農者の早期の経営確立を支援することを目的とする。            ※本事業は令和4年度より新規就農者育成総合対策事業に移行</p> <p><b>【事業内容】</b>            ・経営開始資金の交付【最長5年支援】            単身型：125千円/月（1,500千円/年）、夫婦型：187.5千円/月（2,250千円/年）            ・交付対象者に対するフォローアップの実施</p>

事業の実施状況（DO）
<p>1. 資金の交付            交付人数：6人（アスパラガス5人、イチゴ1人）            補助金：単身型：1,500千円（125千円×12月）×5人＝7,500千円                      夫婦型：2,250千円（187.5千円×12月）×1人＝2,250千円</p> <p>2. フォローアップの実施            交付対象者の就農状況を確認し、関係機関（市、県、農協）で組織する指導チーム会による指導・助言を実施した。</p>

事業実施による成果（CHECK）
<p>経営開始した新規就農者は、技術等が不安定であり、安定的な農業所得の確保が難しい状況にあるが、資金の交付やフォローアップの実施により、経営の安定につなげることができた。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 支援人数	人	2	5	8	7	6	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	新規就農者の農業経営の早期確立に向けて、県や農協などの関係機関と連携し、経営状況に応じた定期的な営農指導・経営管理指導等を実施し、生産技術や農業経営における課題解決に向けた支援を引き続き行う必要がある。
今後の方針	G A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続



# 事業評価シート

事業名	園芸用リースハウス整備事業						担当課	農業振興課			
予算科目	6款	1項	3目	総合計画施策体系	1	1	1	1	実施年度	令和4年度～令和6年度	

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費				53,922	39,990	83,334
国県支出金				40,850	32,250	58,809
地方債						
その他						
一般財源				13,072	7,740	24,525

## 事業の目的及び内容（PLAN）

<p><b>【事業目的】</b>          JAながさき西海がリース事業として実施する生産施設の整備に対し支援することで、新規就農者の育成と振興品目の産地拡大を図ることを目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b>          ・園芸用リースハウスの整備に対する支援</p>
---

## 事業の実施状況（DO）

1. アスパラガスハウスの整備				
	戸数	面積	事業費	補助金
現年	2戸	A=32.1a	25,600千円	19,840千円
繰越	1戸	A=26.6a	26,000千円	20,150千円

## 事業実施による成果（CHECK）

<p>新規就農者の初期投資が低減され営農定着が図られるとともに、市の振興品目であるアスパラガスの産地の維持につながった。</p>
--

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 新規就農者数（リースハウス借受者）	戸				5	3	年度
② リースハウス整備面積	a				105.5	58.7	年度

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	生産性を安定させるため、新規就農者に対し、定期的な営農指導や経営管理指導を引き続き行っていく必要がある。					
今後の方針	<b>G</b>	A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続				

# 事業評価シート

事業名	平戸式もうかる農業実現支援事業							担当課	農業振興課	
予算科目	6款	1項	3,4目	総合計画施策体系	1	1	1	1,2	実施年度	平成27年度～

事業費(千円)	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	55,208	23,249	32,433	60,963	24,090	55,414
国県支出金						
地方債						
その他	55,208	23,429	32,433	60,963	24,090	55,414
一般財源						

## 事業の目的及び内容 (PLAN)

### 【事業目的】

担い手の確保・育成、園芸振興、肉用牛振興を3つの柱として、就農前の研修期間及び就農後の農業経営の安定、園芸用ハウスや牛舎等の施設整備、繁殖雌牛等の導入に対する支援を行い、他産業並みの農業所得が得られる「もうかる農業」の確立に向けた取組みを進めることを目的とする。

### 【事業内容】

- ・新規就農者の研修期間中、経営開始後の生活費に対する支援
- ・新規就農者の就農に必要な農業用施設等の整備に対する支援
- ・認定農業者等が取り組む園芸用施設の補修・改修、堆肥保管庫整備に対する支援
- ・直売所の供給力向上に資する園芸用ハウス等の整備に対する支援
- ・繁殖牛経営の規模拡大等にかかる施設整備や繁殖雌牛導入に対する支援
- ・肥育牛経営の規模拡大にかかる肥育素牛導入に対する支援

## 事業の実施状況 (DO)

1. 就農準備支援事業(就農前1年間)	: 研修生7人(アスパラガス4人、イチゴ2人、肉用牛1人)	4,650千円
2. 経営開始支援事業(就農後2年間)	: 新規就農者11人(アスパラガス9人、イチゴ2人)	8,250千円
3. 中核的経営開始型支援事業	: アスパラガスハウス3戸 A=58.7a	1,290千円
4. 平戸牛産地力強化緊急対策支援事業	: 牛舎整備1棟 A=32.84㎡、繁殖雌牛導入93頭	8,900千円
5. 平戸牛供給力強化支援事業	: 肥育素牛導入10頭	1,000千円

## 事業実施による成果 (CHECK)

- ・新規就農者の研修期間中や経営開始初期に給付金を交付することで、生活の安定が図られ、技術習得に専念できる環境を確保するとともに、就農後の経営安定を促し、担い手の定着につなげることができた。
- ・新規就農者の生産開始に必要な施設の整備に対する支援により、早期の経営安定につなげることができた。
- ・牛舎等の整備や繁殖雌牛、肥育素牛の導入に対する支援によって、認定農業者等の経営規模の拡大が図られた。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 経営開始資金による支援人数	人	12	8	7	12	11	年度
② 園芸産地育成に向けた支援品目	件	2	3	3	3	1	年度
③ 繁殖雌牛導入数	頭	219	95	77	79	93	年度

## 事業の改善 (ACTION)

事業実施に係る課題及び改善点	畜産については、飼料等の高騰により母牛の更新が進んでいない中、高齢母牛の産子の価格が低迷していること、また、豚などの肉用牛以外の畜種に対する支援など、補助制度の見直しを検討する必要がある。							
今後の方針	F	A拡大	B縮小	C統合	D廃止・休止	E事業完了	F改善・見直し	G継続



# 事業評価シート

事業名	ながさき型スマート産地確立支援事業						担当課	農業振興課		
予算科目	6款	1項	3目	総合計画施策体系	1	1	1	2	実施年度	令和2年度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費		5,761	1,920	3,048	15,846	
国県支出金		1,448	1,246	1,045	9,936	
地方債						
その他						
一般財源		4,313	674	2,003	5,910	

## 事業の目的及び内容（PLAN）

<p><b>【事業目的】</b> 園芸品目において、労働生産性や品質の向上、安定生産などにつながるIoT等のデジタル技術の導入や施設の強靱化に対し支援することで、農業所得の向上を図ることを目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b> ・園芸用機械・設備の導入や施設の整備に対する支援</p>
--

## 事業の実施状況（DO）

<p>1. イチゴ</p> <p>  高設栽培システム 3戸 A=39.5a 14,929千円</p> <p>  環境制御機器 2戸 A=25.2a 346千円</p> <p>2. アスパラガス</p> <p>  遊休ハウスの移設 1戸 A=10.8a 571千円</p>
--

## 事業実施による成果（CHECK）

<p>イチゴの生産過程における適温管理や換気作業、肥培管理の効率化が図られ、労力低減や生産性の向上につなげることができた。また、遊休ハウスを活用することで、施設整備費用の負担軽減が図られた。</p>
---

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① イチゴ環境制御機器の導入面積	ha	0.55	1.65	2.07	2.88	2.95	積上
② イチゴ高設栽培システムの導入面積	ha	2.65	2.62	2.65	3.09	3.48	積上

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	イチゴについては、環境制御機器の導入が進んでいるものの、アスパラガスでは新技術の普及が遅れているため、実証試験等を行いながら事業を推進する必要がある。
今後の方針	<b>G</b> A拡大   B縮小   C統合   D廃止・休止   E事業完了   F改善・見直し   G継続

# 事業評価シート

事業名	畜産クラスター構築事業						担当課	農業振興課		
予算科目	6款	1項	4目	総合計画施策体系	1	1	1	2	実施年度	平成28年度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	45,817	1,600	21,495	23,657	32,527	
国県支出金	45,817	1,600	21,495	23,657	24,982	
地方債						
その他						
一般財源					7,545	

## 事業の目的及び内容（PLAN）

<p><b>【事業目的】</b> 施設整備や繁殖雌牛等の導入に対する支援を行い、経営規模の拡大による生産コストの低減などにより経営の安定と肉用牛の生産振興を図ることを目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜飼養管理施設等の整備に対する支援</li> <li>・繁殖雌牛導入に対する支援</li> </ul>
---

## 事業の実施状況（DO）

<p>1. 家畜飼養管理施設等の整備 繁殖牛舎 A=499.84㎡、堆肥舎 A=90.75㎡ 31,127千円</p> <p>2. 繁殖雌牛導入 繁殖牛8頭 1,400千円</p>
--

## 事業実施による成果（CHECK）

<p>牛舎等の整備や繁殖雌牛の導入に対する支援によって、認定農業者の経営規模の拡大が図られ、産地の維持につなげることができた。</p>
---

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 増頭規模	頭	49		22	20	14	年度
② 繁殖雌牛導入数	頭	30	8	4		8	年度

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	子牛価格の下落等により繁殖牛経営は厳しい状況にあることから、関係機関と連携し、経営状況に応じた経営管理や飼養管理に対するフォローアップを行っていく必要がある。									
今後の方針	G	A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続								

# 事業評価シート

事業名	木質バイオマスエネルギー推進事業						担当課	農林整備課		
予算科目	6款	2項	2目	総合計画施策体系	1	1	1	6	実施年度	令和2年度～

事業費(千円)	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	2,802	208,113	1,106	1,206	1,322	1,701
国県支出金		174,599				
地方債						
その他				94		350
一般財源	2,802	33,514	1,106	1,112	1,322	1,351

## 事業の目的及び内容 (PLAN)

### 【事業目的】

未利用材や広葉樹等の森林資源を木質バイオマスエネルギーとして活用し、森林の持つ公益的機能の維持・増進や林業事業者の雇用の安定化、燃料コストの縮減につなげるとともに、二酸化炭素の排出削減につなげることを目的とする。

### 【事業内容】

- ・地域に豊富にある森林資源である未利用の広葉樹を木質バイオマスとして利用することで、林業の活性化及び新たな産業・雇用の創出、地域課題の解消などによる地域全体の底上げ
- ・実証施設のデータの収集・分析
- ・木質バイオマス利用の普及推進

## 事業の実施状況 (DO)

1. 菌床しいたけ生産施設の熱利用(暖房)で実証ボイラー施設のデータ収集・分析を行い、使用する燃料を化石燃料の重油から木質チップへ代替することにより得られる経済効果や二酸化炭素削減効果、運用にあたっての課題の整理などを行った。
2. 木質バイオマスエネルギー導入の普及推進活動を行った。  
視察受入：2件、環境学習：2件

## 事業実施による成果 (CHECK)

1. 実証施設で得られたデータを分析することで、木質バイオマス導入に係るメリット、課題を整理し、導入に向けた情報発信につなげることができた。
2. 実証施設の視察受入れや、環境学習を実施することで、普及啓発を行うことができた。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 木質バイオマス使用量	t		123	214	287	330	年度
② 視察数	団体				3	4	年度

## 事業の改善 (ACTION)

事業実施に係る課題及び改善点	市内における木質バイオマスエネルギーの導入展開については、市民への理解醸成、民間への普及啓発、インフラ整備のための補助金・制度設計、燃料用チップの生産体制の構築など、行政の役割が大きく、官民が一体となって取組みを推進するための体制構築や施策的な後押しを行う必要がある。							
今後の方針	G	A拡大	B縮小	C統合	D廃止・休止	E事業完了	F改善・見直し	G継続



1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	イ) 水産業の振興
方策の概要	漁業後継者（漁家子弟）及び意欲あるU I ターン者の漁業就業を円滑に推進するため、経営の安定に必要な機器類の導入や漁業技術の習得等の支援を行うことにより、漁業担い手の確保及び定着促進を図ります。
	沿岸漁業等の水産業関連事業者の所得向上のため、平戸産水産物の鮮度保持技術及び衛生管理体制の強化による高付加価値化、並びに流通・販売体制の改善強化を支援します。
	水産資源の適切な管理及び漁場環境の維持保全、並びに生産拠点漁港の機能充実により、安定した漁業生産活動に取り組める環境整備を行います。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	水産物流通販売体制強化支援事業	水産課	令和3年度	継続	26
2	ひとが創る持続可能な漁村推進事業	水産課	平成23年度	継続	27
3	漁業後継者経営支援事業	水産課	令和元年度	改善・見直し	28

# 事業評価シート

事業名	水産物流通販売体制強化支援事業						担当課	水産課		
予算科目	6款	3項	2目	総合計画施策体系	1	1	2	2	実施年度	令和3年度～

事業費(千円)	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費			2,632	9,733	10,242	10,266
国県支出金						
地方債						
その他			2,632	9,733	10,242	10,266
一般財源						

## 事業の目的及び内容 (PLAN)

### 【事業目的】

持続可能な水産業を確立するため、市内漁協が鮮度保持や衛生管理及び産地加工や流通体制の維持・強化に取り組む施設整備等の導入を支援することにより、市内水産物の戦略的な流通・販売体制の構築を図る。

### 【事業内容】

- ・ 鮮度保持体制支援(補助率2/3、上限5,000千円)  
鮮度保持施設(製氷・貯氷・冷凍・冷蔵施設)の代替フロン転換にかかる施設整備
- ・ 流通販売体制支援(補助率2/3、上限5,000千円)  
荷さばき施設、加工施設、販売施設、輸送施設の維持、機能強化又は衛生管理向上に資する施設整備
- ・ 生産活動効率化支援(補助率2/3、上限5,000千円)  
共同利用施設における生産活動の効率化(ICT・IoT機器またはAI機器等)に資する経費
- ・ 流通改善対策支援(補助率2/3、上限2,000千円)  
製氷施設等の大規模改修・整備計画の立案、水産分野における市内特産物の販路開拓、水産食品の衛生管理指導等に対するコンサル委託に対する助成

## 事業の実施状況 (DO)

### 1. 令和5年度実施状況

- |         |                     |                          |
|---------|---------------------|--------------------------|
| ・ 平戸市漁協 | コンサル委託：製氷設備改築計画コンサル | 事業費 2,860千円 (補助金1,906千円) |
| ・ 志々伎漁協 | 輸送施設：8トントラック        | 事業費17,509千円 (補助金5,000千円) |
| ・ 館浦漁協  | 給油施設：自動給油機、建屋改修     | 事業費 3,505千円 (補助金2,336千円) |
|         | コンサル委託：加工施設整備計画コンサル | 事業費 1,500千円 (補助金1,000千円) |

## 事業実施による成果 (CHECK)

流通販売関連の輸送施設(8トントラック)や生産活動関連の給油施設について、衛生管理徹底及び作業効率化のために漁協が取り組む機器、設備導入及びコンサル委託等費用の一部を助成したことで、水産物流通販売体制の機能強化に寄与することができた。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 鮮度保持体制支援箇所数	箇所			0	1	0	年度
② 流通販売体制支援箇所数	箇所			2	1	1	年度
③ 生産活動効率化支援箇所数	箇所			0	0	1	年度
④ 流通改善対策支援箇所数	箇所			0	0	2	年度

## 事業の改善 (ACTION)

事業実施に係る課題及び改善点	本事業のメニューにソフト事業(コンサル委託費支援)を加え、各漁協の実態に合った流通改善対策を支援することで主体性の強化を図り、市内水産物の戦略的な流通及び販売体制の構築をさらに促進させ、持続可能な水産業の確立を目指す。							
今後の方針	G	A拡大	B縮小	C統合	D廃止・休止	E事業完了	F改善・見直し	G継続

# 事業評価シート

事業名	ひとが創る持続可能な漁村推進事業						担当課	水産課		
予算科目	6 款	3 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	2	3	実施年度	平成23年度 ~

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	2,150	624	4,152	2,854	4,208	5,315
国県支出金	1,075	312	2,075	1,426	2,083	2,582
地方債						
その他			2,077	1,428	2,125	2,733
一般財源	1,075	312				

## 事業の目的及び内容（PLAN）

### 【事業目的】

新規就業者の確保・定着を促進するため、新たに漁業を営む者（研修者）及び漁業の技術習得を目的とした研修を受け入れた指導者（漁業者）を支援することにより、本市の基幹産業である漁業の持続的な生産と漁村地域の活力維持を図る。

### 【事業内容】

- ・ 漁業就業実践研修事業  
スマート人材育成コースの実践研修における研修費及び指導謝金、地域漁業習得コースの実践研修における研修費、漁業継承コースの実践研修における研修費、マルチ人材育成コースの実践研修における研修費及び指導謝金
- ・ 漁業就業希望者事前実地研修事業  
新規に漁業就業を希望している者に対する事前研修を受け入れた漁家への指導謝金

## 事業の実施状況（DO）

### 1. 令和5年度研修実施状況

No.	研修コース	研修期間	うちR5	研修する漁業種類
1	漁業継承コース	R5.1月～R6.12月	12か月	一本釣、定置
2	漁業継承コース	R5.7月～R7.6月	9か月	蛸壺、あご網、刺網、カゴ
3	スマート人材育成コース	R5.7月～R6.6月	9か月	定置
4	スマート人材育成コース	R6.1月～R6.12月	3か月	一本釣

ほか、定置網漁業に関する事前実地研修を5名、計8日間実施

## 事業実施による成果（CHECK）

市内の漁家子弟4名が、操船技術、漁具作成、漁労機械操作など操業技術全般を習得するため、本事業を活用し実践研修を実施した。また、県外から5名の事前実地研修生を受け入れた。うち3名については地域の漁業担い手として就業しており、漁業後継者の育成・確保に寄与することができた。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 漁業就業実践研修者	人	1	2	4	4	4	年度
② 漁業就業希望事前実地研修者	人	0	0	0	0	5	年度

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点  
漁家出身者は、親から漁船・漁具や技術を継承することができ、非漁業者よりも就業のハードルが低く、就業後も親子で操業を続けていくため離業のリスクも少ない。地域の漁業を支える重要な人材である漁家後継者を確保するために、研修制度の継続と併せて、若年層の漁家子弟に対して漁業就業意欲を育む取組みを進めていく。

今後の方針      **G**      A 拡大   B 縮小   C 統合   D 廃止・休止   E 事業完了   F 改善・見直し   G 継続

# 事業評価シート

事業名	漁業後継者経営支援事業						担当課	水産課		
予算科目	6款	3項	2目	総合計画施策体系	1	1	2	3	実施年度	令和元年度～令和9年度

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	1,856	2,707	3,671	1,152	4,628	5,000
国県支出金						
地方債						
その他	1,856	2,707	3,671	1,152	4,628	5,000
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）
<p><b>【事業目的】</b>            漁業後継者の確保・定着を促進するため、若手漁業者が行う経営の安定化及び水産物の付加価値向上につながる漁船機器等の導入を支援することにより、本市の基幹産業である漁業の持続的な生産と漁村地域の活力維持を図る。</p> <p><b>【事業内容】</b>            ・漁船用機器又は漁労用機械の整備に対する支援：補助率1/2（上限500千円）            ・品質管理に関する漁船用機器等の整備に対する支援：補助率2/3（上限666千円）  <b>【補助対象】</b>            市内在住の45歳未満の者で、所属する漁協の推薦が得られる者</p>

事業の実施状況（DO）
<p>1. 漁船用機器又は漁労用機械の整備（10件）            導入機器：ネットキャリア、魚群探知機、サテライトコンパス等            補助対象事業費 計9,257千円            補助金 計4,628千円</p>

事業実施による成果（CHECK）
<p>先代から継承した機器類（経年により性能が劣化）について、更新費用の一部を支援したことで、操業の効率化（燃料費・修繕費等の経費節減）体制を確保し、本市の漁業の持続的な生産と漁村地域の活力の維持に寄与することができた。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 漁船用機器又は漁労用機械の整備	件	4	6	9	3	10	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	より多くの市内漁業後継者を支援できるよう事業の要件を一部緩和（正組合員になって5年以内の要件を廃止）し、対象範囲を拡大した（令和5年度から施行）。今後も継続して市内若手漁業者の漁業定着及び地域漁業後継者の確保を推進していくため、補助上限の見直しを検討する。
今後の方針	F A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続



1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	ウ) 観光の振興
方策の概要	観光のグローバル化や世界遺産登録、平戸城宿泊施設オープン等で本市を訪れる外国人観光客は更に増えることが予想されることから、DMOを中心として、外国人スタッフの雇用など受入体制を再整備し、誘客を図るとともに、キャッシュレス化の推進により地元消費の促進につなげていきます。
	国内外での平戸の認知度向上を図るため、SNSを活用した観光情報の発信のほか、VR観光の推進や観光ツールの電子書籍化等を行い、平戸観光プロモーションの強化を図ります。
	魅力ある観光地形成に向け、地域に点在する空き家等を活用し、まち全体でもてなす体制を構築し、食をコンセプトにした滞在型観光や農泊・体験観光を推進しながら、市内全域への観光客の回遊及び交流人口の拡大に取り組みます。
	観光消費額増加及び観光客の満足度向上を図るため、稼ぐ観光地域づくりを目指す平戸版DMOに対して支援を行うとともに、学生インターンの活用等、観光人材の育成を推進します。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	平戸版DMO推進事業	観光課	令和元年度	継続	30
2	アドベンチャーツーリズム事業	観光課	令和3年度	継続	31
3	ナイトミュージアム事業	観光課	令和5年度	継続	32
4	スポGOMI開催事業	観光課	令和3年度	改善・見直し	33
5	アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業	観光課	令和5年度	継続	34
6	インバウンド向け旅行商品化促進事業	観光課	令和2年度	継続	35

# 事業評価シート

事業名	平戸版DMO推進事業							担当課	観光課	
予算科目	7款	1項	4目	総合計画施策体系	5	1	1	1	実施年度	令和元年度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	21,993	37,828	19,508	24,908	26,516	32,033
国県支出金	10,763	15,948	4,842	10,307	8,073	8,031
地方債						
その他						
一般財源	11,230	21,880	14,666	14,601	18,443	24,002

## 事業の目的及び内容（PLAN）

### 【事業目的】

観光地経営の視点に立った稼ぐ観光地づくりを目指すため、マーケティングに基づいた事業戦略の実施や農業・漁業・商業・地域団体との連携強化や事業等を行い、地域DMOによる観光振興を目的とする。

### 【事業内容】

国内の販売会等の営業をはじめ観光素材集の作成や旅行商品の開発のほか、国内外への営業や情報発信による誘客を展開する。また、マーケティング、満足度調査や分析のほか、地域DMOの優位性を活かした補助事業やDMO登録更新に取り組む。

## 事業の実施状況（DO）

### 1. 平戸版DMO推進事業

営業：国内誘致活動 5回 海外誘致活動 3回

観光宣伝ツール：観光素材集制作

まちかど観光案内所巡回：72か所

地域DMO登録：更新登録

DMOセミナー：1回

インターネット活用事業：SNSやホームページによる情報発信

国の支援事業活用：4事業（高付加価値化事業、訪日外国人旅行者周遊促進事業、観光再始動事業、観光コンテンツ造成支援事業）

## 事業実施による成果（CHECK）

令和3年3月に登録された地域DMOは、新たに地域DMO事業計画を策定し、更新手続きを完了した。また、地域DMOの優位性を活かし観光庁の補助事業の採択を受け様々な観光事業に取り組んだ。まず、高付加価値化事業では、インバウンド誘客の受入に向けた宿泊施設や飲食店などの改修に取り組むことができた。次に、観光再始動事業では、ライトアップやガストロノミーなどのイベントを開催し、国内外からの誘客を図った。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 国の採択事業	事業			1	2	4	年度

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	引き続き、登録された地域DMOの優位性を活かし国等の支援事業に着手しながら、新たな観光事業に取り組む。また、更新登録を終えたDMOについては、観光庁より新たな登録ガイドラインに沿った、安定的かつ多様な運営資金を確保する事業や持続可能な観光地づくりなどの観光施策に取り組む。							
今後の方針	G	A拡大	B縮小	C統合	D廃止・休止	E事業完了	F改善・見直し	G継続

# 事業評価シート

事業名	アドベンチャーリズム事業						担当課	観光課		
予算科目	7款	1項	4目	総合計画施策体系	5	1	5	2	実施年度	令和3年度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費			22,433	9,036	9,801	14,815
国県支出金			16,822			
地方債						
その他			5,611	9,036	9,801	14,815
一般財源						

## 事業の目的及び内容（PLAN）

<p><b>【事業目的】</b> 「自然」「異文化」「アクティビティ」の要素を取り入れた新たな旅行商品の開発を行い、観光客の誘客や観光消費額の増加を図ることを目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b> アドベンチャーリズムの要素を取り入れた、旅行商品の企画をはじめ、旅行商品販売にて滞在時間の延長や観光誘客を行う。</p>
---

## 事業の実施状況（DO）

<p>1. 観光コンテンツ創出事業 アドベンチャーリズムの概念に基づいた旅行商品の企画や販売 ①クルージング事業：225人 ②カーシェア事業：302人 ③商品造成：3件</p> <p>2. ガストロノミー推進事業 地域の食材や風土を活用した旅行商品の販売 ①ガストロノミーイベント：3か所 参加者：82人</p>
--

## 事業実施による成果（CHECK）

<p>平戸独自のアドベンチャーリズムの構築として、観光コンテンツ創出では、中部地区、南部地区及び度島地区で3つの新たな商品造成に取り組んだ。またガストロノミー推進事業では、観光庁の補助事業にて、平戸の食材と歴史的資源を活用したガストロノミーイベントを開催し、観光誘客につなげた。</p>
---

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	<p>E-bikeとトレッキングを中心とした旅行商品については、これまで市内4か所の地域で造成することができた。今後は、スルーガイドが求められていることから、語学が堪能なガイドなどの人材確保が必要となる。ガストロノミー事業は、国の補助を活用したことで、実証的に旅行商品として販売することが出来たことから、今後もライトアップイベントと連携した商品販売などの新たな魅力づくりにつなげる。</p>
今後の方針	<p><b>G</b>    A 拡大   B 縮小   C 統合   D 廃止・休止   E 事業完了   F 改善・見直し   G 継続</p>

# 事業評価シート

事業名	ナイトミュージアム事業							担当課	観光課
予算科目	7 款	1 項	4 目	総合計画施策体系	5	1	1	2	実施年度 令和5度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費					9,652	10,075
国県支出金						
地方債						
その他					9,652	9,975
一般財源						100

## 事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】  
歴史的資産（平戸城・亀岡神社・平戸オランダ商館など）のライトアップを行い夜間周遊観光の充実を目的とする。

【事業内容】  
市内に点在する歴史的資産において、ライトアップイベントを開催し、観光誘客、滞在時間の延長に取り組む。

## 事業の実施状況（DO）

1. 平戸ナイトミュージアム  
期日：令和5年11月1日～令和6年1月8日 時間：18時～21時30分  
会場：平戸城、亀岡神社、平戸オランダ商館、寺院と教会が見える風景、オランダ堀、田平天主堂
2. 平戸城さくらまつり  
期日：令和6年3月22日～令和6年3月31日 時間：18時30分～21時  
会場：亀岡神社

## 事業実施による成果（CHECK）

夜間ライトアップイベントを開催することで、夜間周遊観光の充実を図った。また、町屋を活用した「ほの灯り」事業とも連携したイベントを開催し、観光消費額の増加や滞在時間の延長につなげることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 平戸ナイトミュージアム来場者数	人					8,048	年度
② 平戸城さくらまつり来場者数	人					715	年度

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点  
参加者アンケート調査で、イベント内容としては、高い満足度の回答であった。ライトアップ期間中に、ほの灯り関係者と連携したイベント（ステージや飲食ブースの開設）では、来場者数が通常時より多かったことから、次回開催時には、数回の飲食やステージイベントを開催し、魅力ある事業の創出につなげる。

今後の方針      **G**      A 拡大   B 縮小   C 統合   D 廃止・休止   E 事業完了   F 改善・見直し   G 継続

# 事業評価シート

事業名	スポGOMI開催事業							担当課	観光課	
予算科目	7款	1項	4目	総合計画施策体系	5	1	3	1	実施年度	令和3年度～

事業費(千円)	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費			1,293	1,470	1,502	
国県支出金			646	735	751	
地方債						
その他			647	735	751	
一般財源						

## 事業の目的及び内容 (PLAN)

<p><b>【事業目的】</b> ごみ拾いにスポーツの要素を取り入れたイベントにて、海岸の環境保全と観光PRや観光誘客を図ることを目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b> 「ごみ拾いはスポーツだ！」を合言葉に、地域の環境美化(ごみ拾い)にスポーツの要素を取り入れたイベントを開催する。</p>
---

## 事業の実施状況 (DO)

<p>1. 開催期日：令和5年7月16日(日)【午前の部・甲子園予選会】 【午後の部・ワールドカップ予選会】</p> <p>2. 開催場所：【午前の部】平戸市街地(宮の町・浦の町・崎方町)【午後の部】平戸城・亀岡公園・白浜地区</p> <p>3. 参加者数：【午前の部】225人(75チーム)【午後の部】142人(46チーム)</p> <p>4. ルール：1チーム3～5人で編成。制限時間内に各々ポイントが異なるゴミを収集し、ポイントを競い合う競技</p> <p>5. ごみ総重量：323.32Kg</p>
---

## 事業実施による成果 (CHECK)

<p>今回のイベントにて、海岸の環境保全やイベントによる観光誘客を行うことができた。また、地元高校生が実行委員として参画することにより、「スポGOMI大会」を通じて、海岸における漂着ゴミ問題や環境美化活動への意識醸成を図ることができた。</p>
--

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① イベント参加者数	人			356	467	367	年度
② スポGOMIでのごみ収集量	Kg			976	1,005	323	年度

## 事業の改善 (ACTION)

事業実施に係る課題及び改善点	「スポGOMI大会(予選大会)」を通して、市内観光のPRや本市の認知度向上につなげていく。また、TV局と連携し、引き続き「スポGOMI甲子園長崎県予選会」の誘致を行い、市外からの観光誘客に取り組む。						
今後の方針	F	A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続					

# 事業評価シート

事業名	アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業							担当課	観光課	
予算科目	7 款	1 項	4 目	総合計画施策体系	5	1	1	2	実施年度	令和5度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費					17,519	72,358
国県支出金					17,503	7,146
地方債						
その他						65,012
一般財源					16	200

## 事業の目的及び内容（PLAN）

<p><b>【事業目的】</b> 地域の一定のエリアの空き家や古民家などを宿泊施設、飲食店などの観光事業につなげる「アルベルゴ・ディフーズタウン」の推進を目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b> 市内に点在する空き家等の調査を行い、未活用資産を新たな宿泊施設や飲食店として活用する「平戸市アルベルゴ・ディフーズタウン計画書」を策定し、新たな観光誘客に取り組む。</p>
---

## 事業の実施状況（DO）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空き家調査 空き家情報の中から、宿泊施設への利用可能な物件の調査</li> <li>2. マーケティング調査 古民家を宿泊施設とし活用する為のマーケティング調査や価格帯分析</li> <li>3. 地域合意形成や説明会、ワークショップ 市内3か所にて、アルベルゴ・ディフーズの説明やワークショップの開催</li> <li>4. ゾーニング設定、パース図作成 開発予定のエリア設定と改修予定物件のイメージパース図の作成</li> <li>5. モニターツアー、コンテンツ開発 アルベルゴ・ディフーズの開業を想定したモニターツアー及び体験コンテンツの開発</li> <li>6. 平戸市アルベルゴ・ディフーズタウン計画書の作成 今後の事業推進を図ることや住民周知のための計画書の作成</li> </ol>
--

## 事業実施による成果（CHECK）

<p>平戸市アルベルゴ・ディフーズタウン計画書を策定することで、空き家や文化財等の利活用モデルを構築することができた。また、次年度以降、物件の改修補助を国に申請する際、優先採択地域に選定された。</p>
---

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	古民家を活用した宿泊施設は全国的に広がっているが、他地域にはない平戸らしい歴史や風土を活用した観光地域づくりや受入体制を構築する。
今後の方針	<b>G</b> A 拡大   B 縮小   C 統合   D 廃止・休止   E 事業完了   F 改善・見直し   G 継続

# 事業評価シート

事業名	インバウンド向け旅行商品化促進事業							担当課	観光課	
予算科目	7 款	1 項	4 目	総合計画施策体系	5	1	4	2	実施年度	令和2年度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費		26,989	29,606	3,000	2,999	3,000
国県支出金		8,614	14,583	1,500	1,500	1,500
地方債						
その他		18,375	15,023	1,500	1,499	1,500
一般財源						

## 事業の目的及び内容（PLAN）

### 【事業目的】

令和3年4月から開業した平戸城懐柔櫓宿泊施設の富裕層やインバウンド誘客に向けた旅行商品の造成やプロモーションにより更なる観光誘客を図ることを目的とする。

### 【事業内容】

国内初の常設の城の宿泊施設のグランドオープンを契機に、国際便での機内放送やWEB等を活用したプロモーションによるインバウンド誘客を行う。

## 事業の実施状況（DO）

### 1. 国際便での機内CMプロモーション

期間：令和6年2月1日～2月29日

放送便数：1,155便

### 2. WEBプロモーション

専門のWEBページにて、市内のイベントや城泊関連商品の紹介ページの作成

- ・ガストロノミーイベントのWEBプロモーション
- ・インバウンド向け旅行商品の造成
- ・国内向け旅行商品の造成

## 事業実施による成果（CHECK）

平戸城懐柔櫓宿泊施設は、コロナ禍の中、令和3年4月に開業を行ったものの、度重なる行動制限や海外からの入国制限のため、当初計画のような宿泊数には至らなかった。令和5年5月以降の感染法上の5類に移行したこともあり、再度、国外への周知を念頭に誘客プロモーションを行った。また、国内についても、イベント紹介や旅行商品の紹介など、城泊を中心とした誘客プロモーションに取り組むことで、インバウンド宿泊数の増加に寄与することができた。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 城泊宿泊数	人			12	14	11	年度
② 平戸城入館者数	人			51,874	61,346	53,366	年度

## 事業の改善（ACTION）

### 事業実施に係る課題及び改善点

コロナ禍とウクライナ情勢などの影響により、外国人が思うように入国できないことから、誘客やプロモーションが出来なかった。新型コロナウイルスも感染法上の5類移行になり、海外の旅行需要も増大することから、引き続き海外へのプロモーションや旅行商品の誘致により更なる外国人誘客を図る。

### 今後の方針

**G**    A 拡大   B 縮小   C 統合   D 廃止・休止   E 事業完了   F 改善・見直し   G 継続





1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	エ) 地域ブランドの推進
方策の概要	豊かな自然の恵みから生み出される農林水産品・加工品の平戸産品を積極的に情報発信し、取引拡大と認知度向上を図ります。
	平戸産品が年間を通じて「知る」「味わう」「購入することができる」拠点としてアンテナショップを整備し、平戸産品のプロモーションと取引拡大を図ります。
	中小企業・小規模企業の振興のため、多様化した消費者ニーズに合致した販売・流通スタイルを構築する必要があることから、商店街内外において新たなビジネスチャンスの場の創出や、企業の持続的な成長を支援することで、地域経済の活性化を図ります。
	これまで「ふるさと納税」で寄付をいただいた寄付者が、長期的に応援してもらえるような取組みを実施するとともに、新たな寄付者を募り、平戸産品のPRにつなげます。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	自社PR動画作成支援事業	商工物産課	令和4年度	事業完了	38
2	持続可能型平戸産品流通商社構築事業	商工物産課	令和3年度	継続	39
3	平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業	商工物産課	平成20年度	改善・見直し	40
4	平戸産品販路開拓商社構築事業	商工物産課	令和4年度	継続	41
5	平戸産品デジタル取引推進事業	商工物産課	令和5年度	事業完了	42
6	6次産業化推進事業	商工物産課	平成27年度	継続	43

# 事業評価シート

事業名	自社PR動画作成支援事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7款	1項	2目	総合計画施策体系	1	1	3	2	実施年度	令和4年度～令和5年度

事業費(千円)	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費				1,012	300	
国県支出金				506	150	
地方債						
その他				506	150	
一般財源						

## 事業の目的及び内容 (PLAN)

<p><b>【事業目的】</b> 市内企業者等の人材確保を図るため、事業内容や就業環境など自社の魅力をPRする動画作成に係る経費の一部を助成することを目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b> 市内事業者の自社PR動画の製作に係る費用に対して助成を行う。 動画作成経費の2/3以内 補助限度額 300千円(1事業者あたり)</p>
---

## 事業の実施状況 (DO)

<p>1. 自社PR動画作成支援事業 1件 補助額 300千円</p> <p><b>【内訳】</b> ・建設業 1件 300千円</p>
--

## 事業実施による成果 (CHECK)

<p>市内中小企業者が自社の業務内容や魅力をPRする動画を作成したことで、自社のホームページや企業説明会等での活用が可能となり、求職者等に対する情報提供の拡充につながった。</p>
--

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 自社PR動画作成本数	本				4	1	年度

## 事業の改善 (ACTION)

事業実施に係る課題及び改善点	<p>本市でこれまで制作していた企業ガイドブックについて、令和6年度に動画を含めたデジタル版企業ガイドブックを制作することから、数多くの事業所を一括で紹介することができるため、本事業は令和5年度に事業完了し、今後はデジタル版企業ガイドブックに集約する。</p>
今後の方針	<p>E A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続</p>

# 事業評価シート

事業名	持続可能型平戸産品流通商社構築事業							担当課	商工物産課
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	4	1	実施年度 令和3年度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費			14,694	18,172	19,315	20,000
国県支出金			7,143	8,133	9,353	9,700
地方債						
その他			5,527	10,039	9,962	10,300
一般財源			2,024			

## 事業の目的及び内容（PLAN）

### 【事業目的】

年間を通じた産品取引と本市及び本市産品のPR及び魅力発信を行うため、首都圏で集客力、訴求力のあるエリアにおいてアンテナショップを出店するとともに、平戸産品を取り扱ったオンラインショップを開設することにより、生産者の所得向上と本市産品のブランディングを図ることを目的とする。

### 【事業内容】

- ・物販型平戸市アンテナショップの運営
- ・飲食型平戸市アンテナショップの運営
- ・平戸市公式オンラインショップの運営

## 事業の実施状況（DO）

1. 物販型平戸市アンテナショップの運営  
店名：有楽町ひらど商館 場所：東京都千代田区有楽町東京交通会館B1F 内容：本市産品の販売
2. 飲食型平戸市アンテナショップの運営  
店名：平戸こんね 場所：東京都千代田区有楽町東京交通会館B1F 内容：本市産品を使用したメニューの提供
3. 平戸市公式オンラインショップの運営  
サイト名：平戸商店 サイトURL：<https://hiradoshouten.com/> 内容：本市産品のオンライン販売

## 事業実施による成果（CHECK）

全国のアンテナショップが集まり、集客力・訴求力のある銀座・有楽町に物販及び飲食店舗のアンテナショップを出店することにより、年間を通じて平戸産品を「知る」、「買う」、「味わう」ことができる販売展開ができた。

令和5年度から運営会社を変更し、外観の改装、取扱商品をブラッシュアップしたことにより、取扱産品の増加、本市の食のイベントと連動した情報発信が実現し、売上も増加することができた。

平戸市公式オンラインショップについては、年間のページビュー数は185,701PV、サイトの閲覧者数は76,675人となり、全国に向けて本市産品のPRを行うことができた。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 物販型平戸市アンテナショップ売上額	千円			13,199	14,596	15,677	年度
② 飲食型平戸市アンテナショップ売上額	千円			9,596	9,849	30,780	年度
③ 平戸市公式オンラインショップ売上額	千円				2,139	2,150	年度

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	物販型アンテナショップ、飲食型アンテナショップともに売上が増加していることから、販売商品、販促活動の成果が得られているが、SNS等を使用した情報発信力が不足していることから、様々な情報を集め定期的な投稿を行っていく。 オンラインショップについては、令和6年度から運営会社を変更し、ページデザインや商品のブラッシュアップを行い、購入率の上昇を目指し、顧客ニーズに即した販売戦略を模索していく。						
今後の方針	G	A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続					

# 事業評価シート

事業名	平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	4	1	実施年度	平成20年度 ~

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	25,000	27,568	13,000	10,000	10,000	10,000
国県支出金						
地方債	22,800	22,800	10,800	8,100	8,100	8,100
その他	1,000	1,000	1,000	1,000		
一般財源	1,200	3,768	1,200	900	1,900	1,900

## 事業の目的及び内容（PLAN）

### 【事業目的】

市内の生産者や関係団体と連携し「平戸」の認知度向上と地場製品の取引・販路拡大を図るため、平戸産品を「知る」、「味わう」、「購入できる」拠点（店舗）への集客や販売促進、物産展など効果的なプロモーション活動に取り組む。また、この取組みにより地元生産者・加工業者等の所得向上、交流人口の拡大等へとつなげることを目的とする。

### 【事業内容】

- ・アンテナショップ販売促進事業（アンテナショップの販売促進・プロモーション）
- ・首都圏通年取引拡大事業（共同アンテナショップでの販売促進・情報発信）
- ・関西平戸産品プロモーション事業（物産展及び飲食店での平戸フェア開催）
- ・福岡都市圏販売拠点創出事業（百貨店での期間限定アンテナショップ開設、飲食店での平戸フェア開催、福岡展示会への出展）

## 事業の実施状況（DO）

1. アンテナショップの販売促進・プロモーション  
アンテナショップ：リニューアルイベント、火曜市、福袋販売、ひらめまつり、クエづくしディナーほか  
とれたて村：平戸うまかもん祭、ガモールマルシェ：平戸フェア
2. 関西圏における物産展及びフェア  
飲食店1店舗、物産展1か所
3. 福岡都市圏飲食店フェア  
百貨店3店舗、飲食店7店舗
4. 首都圏を中心に平戸産品の販路・取引拡大のための営業活動の実施  
首都圏：19回、関西圏：4回、福岡都市圏：15回、その他：18回

## 事業実施による成果（CHECK）

1. 平戸市アンテナショップが令和5年6月にリニューアルオープンし、運営事業者（平戸DMC共同企業体：代表構成員 平戸観光協会）と連携した販促イベントを実施し、店舗、商品のプロモーションを図るとともに首都圏における販売額の増につながった。
2. 関西都市圏飲食店及び小売店での鮮魚フェア、福岡都市圏での百貨店と連携した期間限定アンテナショップ開設等と飲食店でのフェア開催に加え、展示会「フードスタイル九州」に出展し、地場産品の販路拡大を図った。  
・販売、取引実績：90,222千円  
（内訳：首都圏54,958千円、関西圏 5,850千円、福岡都市圏15,430千円、その他13,984千円）  
・新規平戸産品取扱店舗：12件

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 販売・取引実績額	千円	102,932	53,822	57,042	78,718	90,222	年度
② 平戸産品取扱店舗	件	83	74	69	78	72	年度

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

これまで行政が主体となった協議会として運営してきたが、地域商社が主体となり本市物産振興事業を実施していく体制が整いつつある。本協議会については、一定の成果が得られたものと判断し、民間が主体となった新たな連携組織として再構築する必要があることから、今後は市内で地域商社機能を有する組織が連携した体制を検討する。

今後の方針

F A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続

# 事業評価シート

事業名	平戸産品販路開拓商社構築事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	4	2	実施年度	令和4年度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費				12,000	13,870	12,000
国県支出金				6,000	6,000	6,000
地方債						
その他				6,000	7,870	6,000
一般財源						

## 事業の目的及び内容（PLAN）

<p><b>【事業目的】</b>          個別の生産者では難しい年間を通じた物産流通（取引営業）については、行政が主体となり事業を実施している。これらの事業を、行政から民間が主体となった事業にシフトし、物産振興、産品プロモーションを図りつつ、生産者と連携した新たな魅力ある商品開発など、地域の物産資源を域内外に流通した収益により継続的に事業を行う組織を構築することを目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発に関する事</li> <li>・地場産品の販路開拓に関する事</li> <li>・物産展等での地場産品の販売に関する事</li> <li>・平戸フェアの開催に関する事</li> <li>・平戸市アンテナショップに関する事</li> </ul>
---

## 事業の実施状況（DO）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新商品の開発 7品（フリーズドライ味噌汁、あご出汁ちゃんこ鍋スープ、夏香ジュース（ストレート）タイプ、シイラのこんふい、生月鯨のチャーム、酒の肴セット、平戸魚介極海盛り）</li> <li>2. 地場産品の販路開拓 3か所（岩田屋本店、岩田屋久留米店、音羽すし）</li> <li>3. 物産展等 5回（県内2回、関西圏1回、福岡都市圏1回、佐賀県1回）</li> <li>4. 平戸フェアの開催 1回（つきすそそごう横浜店）</li> <li>5. 平戸市アンテナショッププロモーション（有楽町ひらど商館、平戸こんね）</li> </ol>
---

## 事業実施による成果（CHECK）

<p>限られた人員で収益の柱となる事業を確立することが求められる中で、アンテナショップの運営を軌道に乗せたことで、次の柱となる新商品開発へと着手できるようになった。</p> <p>新商品開発においては、生産者と連携することでこれまでに無かった商品が完成し平戸産品の魅力向上へとつながった。</p> <p>販路開拓においては、フェア開催の実績を経て関西飲食店（音羽すし）と年間を通じた取引が確立されたほか、平戸産鮮魚を使用したフェア開催から定期的な取引につなげることができた。</p>
---

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 地域商社にて開発された新商品開発数	品				2	7	年度
② 地域商社事業による売上	千円				12,090	53,749	年度
③ 地域商社が取引する生産者数	者				47	36	年度
④ 地域商社によって開拓された新規取引先件数	件					2	積上

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	<p>地域商社の代表構成員である平戸観光協会の担当職員として1名を配置しているが、アンテナショップ運営、新商品開発、営業活動、売上管理と業務内容が多岐に渡るほか、催事出店で複数の人員が必要となり、その間他業務がストップしてしまうなど、慢性的な人員不足となっている。</p> <p>新商品開発や販路開拓で適切な人員を配置することにより、事業推進及び収益につながることから、他の構成企業による連携や販売促進を強化していきたい。</p>
今後の方針	<p><b>G</b>    A 拡大   B 縮小   C 統合   D 廃止・休止   E 事業完了   F 改善・見直し   G 継続</p>

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業名	平戸産品デジタル取引推進事業						担当課	商工物産課		
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	4	2	実施年度	令和5年度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費					9,990	
国県支出金					1,702	
地方債						
その他					8,288	
一般財源						

## 事業の目的及び内容（PLAN）

<p><b>【事業目的】</b> 平戸産鮮魚の取引に関する情報発信、受発注をデジタル化することにより、取引先の時間に合わせた受注を可能とするとともに、業務の効率化を図り取引量の拡大へとつなげるため、平戸鮮魚取引アプリの運用により、水産物の個別取引の拡大につなげることを目的とする。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平戸鮮魚取引アプリ設計及び構築、管理、試験運用等</li> <li>・平戸鮮魚取引アプリPR動画制作</li> <li>・平戸鮮魚取引アプリを活用した「平戸鮮魚フェア」開催</li> </ul>
---

## 事業の実施状況（DO）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平戸鮮魚取引アプリの開発   アプリ名称：ひらど鮮魚店</li> <li>2. アプリの試験運用   令和6年3月（2店舗）</li> <li>3. 平戸鮮魚取引アプリPR動画制作   15秒×1本、30秒×1本</li> <li>4. 平戸鮮魚フェア   小売店1店舗、飲食店1店舗</li> </ol>
---

## 事業実施による成果（CHECK）

<p>直売所の鮮魚取引量を増やすためのアプリケーションが開発されたことで、受発注がシステム化し業務効率が図られた。</p> <p>これまで、取引店舗の必要な鮮魚だけを少量で取引するケースが多かったが、鮮魚ボックスで提供することにより、客単価及び売上の増額、取引量、取引店舗を増やす体制が整った。</p>
---

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	デジタル取引のシステムは構築されたが、取引店舗の獲得が必要となるため、民間主体によるSNS等を活用した広告宣伝を積極的に進めるとともに、本アプリを活用した取引によるデジタル化を拡げていく必要がある。								
今後の方針	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><b>E</b></td> <td style="width: 10%;">A 拡大</td> <td style="width: 10%;">B 縮小</td> <td style="width: 10%;">C 統合</td> <td style="width: 10%;">D 廃止・休止</td> <td style="width: 10%;">E 事業完了</td> <td style="width: 10%;">F 改善・見直し</td> <td style="width: 10%;">G 継続</td> </tr> </table>	<b>E</b>	A 拡大	B 縮小	C 統合	D 廃止・休止	E 事業完了	F 改善・見直し	G 継続
<b>E</b>	A 拡大	B 縮小	C 統合	D 廃止・休止	E 事業完了	F 改善・見直し	G 継続		

# 事業評価シート

事業名	6次産業化推進事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7款	1項	2目	総合計画施策体系	1	1	4	2	実施年度	平成27年度～

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	1,929	5,588	6,194	9,227	6,260	9,354
国県支出金						
地方債						
その他	1,578	5,562	6,000	9,000	6,000	9,000
一般財源	351	26	194	227	260	354

## 事業の目的及び内容（PLAN）

### 【事業目的】

農山漁村の有形無形な地域資源をさらに有効活用するため、1次生産者が原料供給者としてだけでなく、加工（第2次産業）、販売・流通（第3次産業）に取り組み、経営の多角化を進めることで所得の向上や雇用の確保を図るとともに、地域全体を活性化させることを目的とする。また、1次生産者と2次、3次事業者の連携、加工事業者による商品開発を推進し、本市の物産の魅力を高める。

### 【事業内容】

- ・農林水産物及び本市の歴史的価値を活かして加工製造される新商品開発の取組みに対して支援を行う。  
施設、機械設備及び販売促進に要する経費の2/3 補助限度額 3,000千円
- ・商品開発、販路開拓に関するセミナー及び相談会の開催

## 事業の実施状況（DO）

1. 新商品開発総合支援事業  
申請件数：2件、採択件数：2件（新商品開発総合支援事業補助金 300万円×2件）  
開発された新商品：レトルトかまぼこ・レトルトすり身天、平戸なつ香鯛出汁ラーメン
2. 6次産業化事業相談  
個別相談件数：6件（新商品開発5件、施設整備1件）
3. 6次産業化セミナー  
2/5 販路拡大と売上向上のための実践的セミナー（参加者：25人）

## 事業実施による成果（CHECK）

1. 新商品開発総合支援事業  
本事業により新商品が3品開発され、本市特産品の充実につながった。
2. 6次産業化事業相談・6次産業化に向けた相談及びセミナー  
新商品開発に関する相談が6件あり、そのうち3件（4商品）が新商品開発につながった。
3. 6次産業化セミナー  
直売所及び生産者、事業者向けにセミナーを開催し、新商品開発・商品のブラッシュアップへの機運を醸成した。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 支援件数	件	1	2	2	3	2	年度
② 相談件数	件	4	7	4	7	6	年度
③ セミナー開催数	回	1	1	0	1	1	年度

## 事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

1次生産者が新たに加工業を始めるケースについては、消費者ニーズの把握や原価計算など、商品開発のノウハウが不足していることが多いことから、今後も6次産業化アドバイザーや商工会議所・商工会等と連携し、開発から販売までつながる事業計画策定の支援を行っていく。また、これまで支援した1次生産者においては、引き続き新たな商品開発を意欲的に取り組んでいる事業者が多いことから、補助事業終了後も定期的な情報交換やアドバイス等を行い、本市特産品の充実を図る。

今後の方針

**G**    A拡大   B縮小   C統合   D廃止・休止   E事業完了   F改善・見直し   G継続





1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	オ) 持続可能な地域経済の確立
方策の概要	営農にかかる労力不足が深刻な問題となっていることから、地域の実情に即した労力支援組織の育成や外国人材等、新たな労働力の活用を推進します。
	市内中小企業等の経営者の高齢化が進む中、商工団体等と連携して事業者の円滑な事業承継の推進に向けた取組みを支援します。
	本市の農林水産業や地域資源に着目した高等教育機関の誘致に取り組み、産業人材の確保育成に取り組みます。また、市内の高等学校と連携した「ふるさと教育」や「キャリア教育」に取り組み、地域や地場産業を支える人材の育成に取り組みます。
	農畜産物の効率的かつ安定的な生産体制を構築し、持続可能な農業基盤及び多様な担い手が農業に参入しやすい環境を構築するため、「スマート農業」の取組みを推進します。
	ICT等の先端の情報技術を活用し、資源管理の強化や操業における省力化、漁獲物の高付加価値化等のために、国県等の動向を見据えながら「スマート水産業」による取組みを支援します。
	先進技術やノウハウを持つ市内外の人材や民間事業者等と積極的に連携し、本市産業の維持・発展に資する取組みを推進します。
	本市産業の維持・振興、鉄道や船舶等も含めた公共交通のネットワーク化及び地域再生の実現に向け、道路の一体的整備を図ります。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	産地を支える人材確保推進事業※P16掲載済	農業振興課	平成29年度	継続	16
2	ながさき型スマート産地確立支援事業※P21掲載済	農業振興課	令和2年度	継続	21

